

ブロックの準備

- 挽き割り（リソー）用の幅広ブレード装着。
 - ・裏板を張らずに、ブロック底面（作品の底になる面）とブロック上面（作品の上部になる面）を平衡状態にカットしておく。
 - ・ブロックおもて面に型紙を張る。型紙の底辺を作品の底になる辺と平行にして1mm程度の余裕を持たせる。その際、作品の上辺にもカットできる余裕を持たせる。
 - ・ブロックの不要な角を荒落としておく。特に引き出しを切り抜くときに、バンドソーの懐が足りるように落としておく。

ブロックの切り取り工作

- 曲線切り用の細いブレード装着。
 - ・裏板を張らずに、切込み線に従って引き出し部分(D-1~5)をくり抜く。その際、(A-1~5)への切込みは、最小限にとどめる。刃が回転できる場所を作る程度。
 - ・台座（鉢）部分の位置がわかるようにブロックの脇に鉛直に延長線を書いておく。
- 挽き割り用の幅広ブレード装着。
 - ・前板①を切り取る（5mm厚）。
 - ・新しい型紙の台座部分のみブロックの脇に書いた線を基準にして張り付ける。
 - ・台座の引き出し部分(D-6)を切込み線に従って直線部分（2本）を切る。（横から）
- 曲線切り用の細いブレード装着。
 - ・D-6の曲線部分を切ってくり抜く。
 - ・D-1~6のくり抜いた引き出し部分の内壁をサンドで適当に整える。
 - ・うら面に裏板をボンドで張り付ける（接着）。
 - ・おもて面の台座の型紙をはがす。
 - ・おもて面に、先に切り取った前板①を両面テープで仮止めする。
 - ・(C)を残して外観を切り取る。（作業が進むまでゆがみを防ぐために(C)を残しておく）
 - ・(A-1~5)を図面の切り込みに従って切り取る。
 - ・裏側から、各切込み部分にボンドを注入して補強する（変形を避けるために注入するだけで切込みの隙間を圧着しない）。ボンド注入用の穴をドリル(3mmφ)で深さ10mm程度あけると良いかも。
 - ・外観および(A-1~5)内壁をサンドでしっかりと整える。
 - ・(C)を切り取る。
 - ・(C)の壁面をサンドでしっかりと整える。

●挽き割り用の幅広ブレード装着。

- ・前板②を切り取る（5mm厚）。
- ・張り合わさっている前板①②をおもて面に両面テープで仮止めする。
- ・前板③を切り取る（7mm厚）。

各パーツの工作

- ・前板①②③の張り合わさっている状態から(M),(M'), (L-1), (L-2), (L-3), (L-4),(L-5), (L-6), (G), (P)を個別パーツとして切り取る。
- ・実際にパーツとして使うのは下記の通り。
 - ・(M),(M')は前板③のみ。
 - ・(B-1),(B-2),(B-3)は前板②のみから破線に沿って切り取ってから成形する。
 - ・(L-1), (L-3), (L-6), (G)は前板②③。ボンドで接着する。
 - ・(P)は前板①②③。ボンドで接着する。接着した後で(P')の部分を切り離す。